

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2004年2月26日

42号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

当事者も共につくる血の通ったプランを

誰もが地域の中で



春の嵐の後に、散り初めた梅が風雅にかおっています。
皆様お元気でお過ごしでしょうか。ひところはやった風邪も一段落で、障害者のメンバーは、元気に過ごしています。

* * *

さて、このところ「横浜市障害者プラン」の原案が出され、「横浜市地域福祉計画」と共に横浜市より説明の機会が持たれました。(資料をご希望の方はご連絡ください)

昨年より開始された国の新障害者プランを受けて、平成16年から20年までを期間として、障害者が自らの意思で、地域で自立した生活を送れる社会作りを推進するための施策を具体的に示すというものです。

また、福祉局と衛生局の統合など(平成18年度から)によりこれまで別に取り組みされてきた精神障害者や難病患者等への福祉もあわせて総合的にとりくまれるとのことです。いろいろ意見はありますが、ともかく「誰もが地域の中で同じように生活できるように」を目指しながら、相変わらず施設を作り続け、グループホームに回すお金が足りないようでは、素直に喜べないのは、誰もが同じようです。16年度横浜市では50館もグループホームの計画が出されていますが、まず確実なのは33件で後は10月以降の予算の使われ方を見て頑張りたいという説明でした。

いま私たちが直面しているように、重い障害をもった人が暮らすグループホームは設備も人手も、余分にかかります。準備のための費用も大変なのに、これらの出費は運営委員会で用意せよというのでは、重度の人はなかなかグループホームや地域に住むのが困難です。

もし「支える会」の支援がなかったら、「よつばホーム」も実現不可能なことでした。

“誰もが”の中には、私たちも入っているのですよね?と念を押してみたくするのは、私だけではないと思います。

* * *

さて、少し楽しいニュースです。先日2館目に入居する人のお母さんと職員で、新居に入れる電気機器などの買物に行きました。一館目のときは、すでに体験事業で用意されていた

ものがほとんどでしたが、今度はすべて買い揃えることになります。

機種や品物を選んだり、見積もりを取ったり、複数店の価格を比較したり、値引きの交渉をしたり・・・主婦大活躍の一コマでした。

3月5週目あたりから、いよいよ少しずつ出発する予定で準備を始めています。



グループホームへ向けて

横浜療育医療センター 齊藤 和代

横浜療育医療センターの齊藤です。昨年よりこちらの常勤になり、なかなか時間がとれず、お役に立てず、申し訳なく思っております。

当療育医療センターは、この一年間、支援費制度も整い、レスパイトや様々な理由での短期入所が格段と増えてまいりました。中には呼吸器を必要とする重い合併症をもつ利用者も少なくないことに驚きつつ、在宅の方のお手伝いをできればと職員一同、頑張っております。しかし、昨年4月当初15床あった、短期措置のベットも、この一年で長期入所者が徐々に増えるとともに減少し、とうとう9床になってしまいました。(支援費ベットは他に5床)この現状の中で、グループホームでの生活が充実していくことは、地域で暮らして生活できるという価値とともに、大変意義のあることと思われまます。

ただ、一つ一応医師の立場から申し上げさせていただくこととして、日中だけでなく夜間も預かる事への慎重さ、特に、重い障害の方への基本的知識と経験は大事です。加齢とともに生じてくる合併症にも気をつけつつ、より安心して過ごせる環境作りを心がけていただきたいと思います。そちらに伺うことはなかなか困難になりましたが、外来受診や検査等、上手に利用していただければと思います。

皆が元気に過ごせるホームづくり、頑張ってください。

地域交流バザーのお知らせ

日時： 3月27日(土) 10時30分～2時

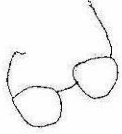
場所：グループホーム「よつばホーム」

港北区新吉田町5623 (九州石油スタンド隣) TEL 045-591-7040

内容：雑貨、衣類など提供品や手づくり食品の販売。喫茶。

*資金作りを兼ねて、今年は2館目も開所するのでグループホーム「よつばホーム」を知っていただくための交流バザーを行います。お誘い合わせお出かけください。

また、販売品のご提供もお願いします。



めがねのこえ

このごろ 親が自分の 子供をたたいたり、虐待して殺したりすると言うニュースをときどき聞きます。

私たちは びっくりします。

かわいい子供を、なぐったり いじめたりどうして出来るのでしょうか・・・

たまたま、私の妹も結婚して 子供が出来ました。

はじめのうちは物も食べられなくて、おなかが痛くて 立ってられなかったり いろいろな匂いが気になって、自分のマンションにいるのもつらくなったりしました。

今 少しよくなっても、毎日の生活でも いろいろと気をつけています。

それを見ていて、私は「人が生まれてくるのは、とても大変なことだ」と思います。だからこんなにつらい思いをして生んだのに、かわいい子供を虐待するなんて、ほんとに理解出来ないのです。

またぎゃくにかわいくて、子供を大切にしすぎてしまう事もあるのかなと思います。

もしその子が障害者だったらなおさらで、社会の経験も少なくていつまでも子供として生活させることも多いようです。

守ろうとする親たちから自立することは、少し大変だね・・・と聞きました。

大原友子

手作り品紹介

刺し子のふきん

支える会が販売している手作り品の定番に「刺し子のふきん」があります。私たちが資金作りの取り組みを始めてからもう 20 年以上に成りますが変わらぬ人気商品です。

丁度そのころ、港北区の篠原地区でボランティアグループの活動が組織されました。区社会福祉協議会の大会の記念品として「刺し子のふきん」をたくさん注文していただき、お受けしたとき、このグループにお手伝いいただいたのがきっかけとなりました。それ以来休むことなくずっとお手伝いいただいてきました。

篠原地区はボランティア活動が大変盛んな所で、今はその活動も多岐にわたって行われています。そんな中で刺し子への取り組みをしていただく方も高齢になられて、中止されるどころも出てきましたが、現在も変わらずご支援くださっている方もあり大変うれしく思っております。病気を抱えながら作ってくださった方や高齢ながらお元気で見事な作品を次々と制作してくださる方など。宮沢チヨさん、佐藤敏子さん、江川テイ子さん、前橋さんの 4 人のグループの方たちの御協力には本当に感謝いたします。

今月のよつばホーム

～週末のよつば～

週末は活動ホームに行かないので、みんなでゆっくりと過ごします。昼食の際、最近活躍しているのが2つのホットプレート。去年購入し、最近ではかなり重宝しています。定番メニューは、お好み焼き・焼きそば・ホットケーキ etc、加えてたこ焼きを焼くプレートもついているので、たこ焼きも作ったりしています。

先日の土曜日、2回目のたこ焼きパーティーをしました。たこ焼きが焼けるプレートは1つしかないので、みんなで1つのホットプレートを囲みます。まずは勢津子さんと職員が中心になって作ります。見ている人、興奮して動き回っている人（これは次郎さんですね）、様々です。たこ焼きは1回に30個ほどしか作れないので、出来上がったものを職員も含めてみんなで分けると各自3～4個ずつで、また次が出来上がるのを待つしかありません。藤田さんもたこ焼きがとても好きなようで、介助が間に合わないくらいパクパク食べているようでした。花岡さんも、次が待ち遠しいといった様子でたこ焼き作りを見つめていました。食べ終わって満足したのか、最後は次郎さんもたこ焼きをひっくり返したりして手伝ってくれました。

結局大量に出来上がり、職員も食べきれないほどになってしまいました。みんなで「こんな時に誰かお客さんがくれば、たこ焼き食べられてラッキーなのにねえ」といって、笑っていました。

よつばに遊びに来てみたいと思っているみなさん、週末のお昼時が狙い目かもしれませんよ！

“うちではこんなものをホットプレートで作っている”というアイデア募集中です。

おたより

先日は写真展お疲れ様でした。あの日はわずかな時間しかなく、ゆっくりとお話しもできず心残りでした。ですが、大原さんや花岡さんのお顔を見て、またよつばのみんなの変わらぬ笑顔を写真で見ることができ、とても元気をいただきました。ありがとうございました。

2 館目のグループホームに向け、お忙しい毎日であると思います。どうぞお身体に気を付けて下さいませ。御無沙汰ばかりで何もお力になれず心苦しいのですが、心からよつばのますますの発展を祈っております。

出村早苗